

科目名	建築施工管理							年度	2025	
英語科目名	Architectural Construction Management							学期	前・後期	
学科・学年	建築学科 2 年次		必／選	必	時間数	90	単位数	6	種別※	講義
担当教員	赤石 辰夫、大澤			教員の実務経験		あり	実務経験の職種		建築施工管理	
【科目の目的】 ・ 建築の国家試験問題に対応できるようになる。 ・ 過去出題問題を解いて、確実に合格点が取れるようにする。 ・ 新規問題にチャレンジし、応用力を身に着ける。										
【科目の概要】 建築の国家資格の過去問題に多く接し、その解き方と傾向について学ぶ。身についた実力で 2 級建築施工管理技士補（7 月と 11 月に受検）の試験を受験し、資格を取得する。										
【到達目標】 A. 試験問題の傾向や解答の考え方、注意すべき点などについて理解する。 B. 過去問題に多く接し、類似問題や正しい規準の数値をしっかりと記憶し、合格点に達することができる。 C. 最近出題された新規問題や応用力を試される問題に挑み、獲得点数をアップさせる。										
【授業の注意点】 購入した問題集は、3 回以上繰り返し読み、解答と照らし合わせる。何よりも試験問題に慣れて出題傾向をつかみ、その先の応用力を身につけなければ、合格点に到達できない。授業ではより詳しい解説を行い、質問対応をすることで個別のスキルアップを図るので、苦手とする分野は積極的に参加すること。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル 3		レベル 2			レベル 1				
	優れている		ふつう			要努力				
到達目標 A	試験の出題傾向を理解し、様々な問題形態について解答できる。		試験の出題傾向を理解し、過去問題に対応できる。			試験の出題傾向が分からず、過去問題に対応できない。				
到達目標 B	専門性の高い技術に対して理解し、問題に対応できる。		専門用語を理解し、正しい基準となる数値を覚えている。			専門用語や基準となる数値が覚えられない。				
到達目標 C	1 級の国家試験に出題されたレベルの問題にも対応できる。		新規問題や応用問題にも対応できる。			過去繰り返し出題された問題も理解できない。				
【教科書】 2 級建築施工管理技士第一次検定テキスト・問題解説（総合資格学院）										
【参考資料】 必要な資料がある場合は、適宜配布する。										
【成績の評価方法・評価基準】 2 級建築施工管理技士補の合格を 40％、練習問題の評価を 4 0％、授業への取り組み状況を 2 0％、として評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										
科目名	建築施工管理							年度	2025	
英語表記	Architectural Construction Management							学期	前・後期	

回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	環境工学	空気や熱の流れについて学ぶ。	1 換気 2 熱 3 結露	換気方式の種類や換気計算などができる。 熱貫流や断熱効果などが分かる。 結露の仕組みとその予防対策が分かる。	1	
2		あかりや色の感じ方、音の影響について学ぶ。	1 日照・採光 2 色彩 3 音響	大洋や照明による光・熱の影響と効果が分かる。 色の特性としてその効果と利用方法が分かる。 音の残響効果や遮音・吸音の方法が分かる。	1	
3	構造力学	静定構造の基本的な計算や考え方を学ぶ。	1 静定構造の反力 2 断面の性質 3 応力図	単純梁や門型ラーメンの反力計算ができる。 断面二次モーメントの計算ができる。 曲げモーメント図・せん断力図が理解できる。	1	
4	各種構造	構造設計の基本と躯体構造の仕組みを学ぶ。	1 構造設計 2 木・RC造・S造 3 基礎構造	積載荷重や積雪・地震による設計が分かる。 各種躯体構造の仕組みが分かる。 直接基礎と杭基礎についてわかる。	1	
5	施工共通	建物以外の工事などについて学ぶ。	1 舗装 2 測量 3 積算	アスファルト舗装について仕組みが分かる。 測量方法とその制度について分かる。 積算基準と数量を計算する方法などが分かる。	1	
6		各種設備工事について学ぶ。	1 電気 2 空気調和 3 給排水	電気設備や消防設備について分かる。 空気の温度調節と換気について分かる。 給水設備と排水設備を関連させて理解できる。	1	
7	法規	建築やそれを職業とする法律について学ぶ。	1 建築基準法 2 建設業法 3 建設リサイクル法	主に単体規定に関してわかる。 建設業の許可や請負契約について分かる。 産廃とリサイクルするべき廃材について分かる。	1	
8		労働環境に関する法律について学ぶ。	1 労働基準法 2 労働安全衛生法 3 騒音・振動・道路など	労働契約や条件、年齢制限について分かる。 管理体制や特別教育・技能講習などが分かる。 特定建設作業や道路法などが分かる。	1	
9	躯体工事	土に接する部分の工事や仮設について学ぶ。	1 仮設 2 土・山留め 3 基礎	共通仮設と直接仮設について分かる。 山留と支保工、排水工法などが分かる。 既製杭と場所打ちコンクリート杭が分かる。	1	
10		RC造・S造の工事について学ぶ。	1 鉄筋・型枠 2 コンクリート 3 鉄骨加工・建方	鉄筋の加工・配筋と型枠の仕組み・脱型が分かる。 コンクリート練り混ぜと打設・養生が分かる。 鉄骨の加工と建方および接合方法が分かる。	1	
11		新築工事以外の工事について学ぶ。	1 耐震補強 2 各種改修 3 RC造の解体	各種耐震補強と耐震スリット工法が分かる。 防水や建具の改修工事が分かる。 RC造の解体工法と作業手順などが分かる。	1	
12	仕上げ工事	外装工事について学ぶ。	1 防水・屋根 2 タイル・石 3 ALC・セメント板	屋上や屋根の工事とシーリングについて分かる。 タイルや石を乾式・湿式で取付ける工法が分かる。 S造外壁のカーテンウォールについて分かる。	1	
13		内装工事について学ぶ。	1 LGS・木下地 2 建具・ガラス・左官 3 床・塗装	天井や間仕切り壁の下地について分かる。 開口部の工事と左官工事が分かる。 床の各種仕上げと塗装工事について分かる。	1	
14	施工管理	施工計画の要点と、材料・工程管理について学ぶ。	1 施工計画 2 材料管理 3 工程管理	施工計画の立て方が分かる。 各種材料の現場保管について分かる。 各種工程表とその役目について分かる。	1	
15		管理手法と品質・安全管理について学ぶ。	1 デミングサイクル 2 品質管理 3 安全管理	管理項目とその管理手法が分かる。 各種管理図とその特徴や、検査について分かる。 労災や安全衛生管理体制について分かる。	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等